



国際要件の詳細

土壌、地下水に関する国際要件

目的

ロシア連邦、レンダーおよび利害関係者の要求に従って、土壌及び地下水に対する影響リスク¹に関し、サハリンエナジーが公式に適用している国際基準および他の要件を定義すること。

この文書は、社内基準および仕様への適合を調整するとともに、基準について他の管理者に報告するために環境管理専門家により利用される。

注：この文書は、署名の時点で有効な、オリジナルのプロジェクトデータと基準に基づいている。この文書は、基準の変更に対応できるよう、プロジェクト完了後 12 カ月以内（PC+12m）に改定されるべきである。

対象者

- 管理者
- HSE 専門家

要件

土壌及び地下水に対する影響リスク管理は、下記の表に記述されている例外／仮定を参考に、次のような、国際的に認知された基準、条約（ロシア連邦が批准した）およびその他の要件項目に従うこと。

- EC 指令 80/68/EEC 特定の危険物質を原因とする汚染からの地下水の保護に関する理事会指令
- ロイヤル・ダッチ・シェルの土壌及び地下水管理マニュアル

¹この文書のイタリック体の用語は、サハリンエナジーHSE用語集にある。

未分類	文書№ 1000-S-90-04-O-0004-00-E 付録 3, 第 01 版	有効期限：2010年5月28日からプロジェクト完了後12カ月以内	
文書履歴	承認者：T.Hake 管理者：E. Levkovsky	複写規制なし	ページ 1 / 5



土壌、地下水に関する基準

必須

国際要件の詳細

関連する基準の要件	プロジェクト仕様	コメント
EC 指令 80/68/EEC 特定の危険物質を原因とする汚染からの地下水の保護に関する理事会指令		

未分類	文書№ 1000-S-90-04-O-0004-00-E 付録 3, 第 01 版	有効期限 : 2010 年 5 月 28 日からプロジェクト完了後 12 カ月以内	
文書履歴	承認者 : T.Hake 管理者 : E. Levkovsky	複写規制なし	ページ 2 / 5



国際要件の詳細

<p>EC 指令 80/68/EEC 特定の危険物質を原因とする汚染からの地下水の保護に関する理事会指令は、特定の危険物質によって引き起こされる汚染から地下水を保護するための政策を定義している。</p>	<p>水資源と排水管理に関し、ロシア連邦で施行されている主な法律は、次の通りである：</p> <ul style="list-style-type: none"> ロシア連邦法律 7-FZ、「環境保護について」2002年1月10日 <p>この複合的な法律は、環境と環境保護に関する国家政策を定義している。</p> <p>法律には、設置場所の決定、計画、建設、再建、試運転、利用に関する要件が記載されている。</p> <p>当法律には、環境保護及び資源の合理的な利用の主な原則が述べられている。</p> <p>更に、当法律は、環境政策、土壌、水資源、森林資源、鉱物資源の利用、大気保護、廃棄物管理に関わる他の法律及び指令策定の基礎となる。</p>	<p>要件を通じて順守</p>
---	---	-----------------

未分類	文書№ 1000-S-90-04-O-0004-00-E 付録 3, 第 01 版	有効期限：2010年5月28日からプロジェクト完了後12カ月以内	
文書履歴	承認者：T.Hake 管理者：E. Levkovsky	複写規制なし	ページ 3 / 5



国際要件の詳細

	<p>当法律は、施設の通常利用手順を通じて、水資源に漏出する危険な化学物質の最大許容濃度 (MPC) を設定している。最大許容濃度 (MPC) は、環境/水物件の金融価値に影響を与えない化学物質の濃度である。</p> <p>全ての施設において、水利用と排水管理は、有効な水利用ライセンスに従って行われている。</p> <p>実施中の活動の管理も、サハリンエナジーにより開発された「水利用と排水基準」に従って行われている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ロシア連邦の水法 167-FZ、1995年11月16日 <p>水法は水利用および排水に関する要件を定義している。水法に従った水物件の利用は、水利用ライセンスの条件に沿って実施されている。そのライセンスは、水利用の制限、排水、排水される水物件に関する悪影響の最大許容濃度を定義している。水法は地下水に関する影響を削減している。更に水法により水物件利用の料金が請求されている。</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ロシア連邦法 174-FZ「環境アセスメントについて」。当法律およびその他の要件に基づき、提案されたプロジェクトの技術経済的仕様の完全な報告書 (TEOC 報告書) が準備されている。その他、TEOC 報告書には予想される環境問題が定義され、水利用の評価が含まれる。更に、施設で製造される水物件を汚染する物質のリストも含まれている。当報告書には環境状況の管理政策および汚染濃度を低下させるための対策が記述されている。ロシア連邦のさまざまな機関 (例: 自然資源省、漁業委員会) による TEOC 報告書の認定は、大気への排気許可を取得する過程における第一歩である。 	
<p>項目 3 は、地下水に排出が禁止されている物質のグループを記載した条項 1 に属している。条項 2 において、地下水への排水を最小化すべき物質のグループおよびクラスが記載されている。</p>	<p>サハリンエナジーはこれらの法律に精通し、それらの文書と関連するロシア連邦の法的要件に従っている。</p>	<p>同様の物質に関する、ロシア連邦の法律の要件を通じて順守</p>

未分類	文書№ 1000-S-90-04-O-0004-00-E 付録 3, 第 01 版	有効期限: 2010年5月28日からプロジェクト完了後12カ月以内	
文書履歴	承認者: T.Hake 管理者: E. Levkovsky	複写規制なし	ページ 4 / 5



国際要件の詳細

<p>項目 4 には、両条項で特定された物質が他の水系に流れず、エコシステムに損害を及ぼさないことを条件に地下水への排出が許可されている物質について記載されている。</p>	<p>「漁業基準の条項：漁業向けの水物件の水に対する有害物質の影響」（モスクワ、VNIRO, 1999, ISBN 5-85382-205-5）。当法律は、ロシア連邦漁業委員会により施行され、排水可能な物質のリストを定義している。設定された最大許容濃度（MPC）以下であれば浄化せずに排水してもよい。</p> <p>ただし、そのような化学物質を排出してもよい、という直接許可ではないので、それらの物質を排出してはならない。個々の事例において、必要な書類（データのみ）を提供するか、あるいは、水利用ライセンスの取得手続きをとるべきである。</p> <p>サハリンエナジーは、VNIRO の条項に精通し、各物質のための最大許容濃度を定義するために、そのようなデータを利用している。</p>	<p>ロシア連邦の基準の厳守を通じて順守。</p>
<p>項目 5 は、地下水へ徐々に漏出することは、直接排水に限らず、地上あるいは地下で実施される活動にも関わる、と認識している。</p>		<p>参考</p>
<p>付録には、当指令の実施が適用される物質のグループおよびクラスの具体的条項が提供されている。</p>	<p>「漁業基準の条項：漁業向けの水物件の水に対する有害物質の影響」（モスクワ、VNIRO, 1999, ISBN 5-85382-205-5）。当法律は、ロシア連邦漁業委員会により施行され、排水可能な物質のリストを定義している。設定された最大許容濃度（MPC）以下であれば浄化せずに排水してもよい。</p> <p>ただし、そのような化学物質を排出してもよい、という直接許可ではないので、それらの物質を排出してはならない。個々の事例において、必要な書類（データのみ）を提供するか、あるいは、水利用ライセンスの取得手続きをとるべきである。</p> <p>サハリンエナジーは、VNIRO の条項に精通し、各物質のための最大許容濃度を定義するために、そのようなデータを利用している。</p>	<p>ロシア連邦の基準の厳守を通じて順守。</p>

<p>未分類</p>	<p>文書№ 1000-S-90-04-O-0004-00-E 付録 3, 第 01 版</p>	<p>有効期限：2010 年 5 月 28 日からプロジェクト完了後 12 カ月以内</p>	
<p>文書履歴</p>	<p>承認者：T.Hake 管理者：E. Levkovsky</p>	<p>複写規制なし</p>	<p>ページ 5 / 5</p>